

事業コード	H17-建-継-07		区 分	国庫補助 県単独
事業名	地方道路交付金事業費		部局課室名	建設交通部 道路課
事業種別	道路改築(バイパス)		班 名	県道・市町村道班 (tel) 018-860-2493
路線名等	(主)常盤峰浜線		担当課長名	中山敏夫
箇所名	峰浜村石川		担当者名	主幹(兼)班長 水木清博
総合計画との関連	政策コード	U	政策名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備
	施策コード	04	施策名	地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備
	指標コード	02	施策目標(指標)名	県道改良率

1. 事業の概要

事業期間	H15 ~ H20 (6年)		総事業費	8.0億円	国庫補助率	0.55	
事業規模	延長L=980m 幅員(構成)W=8.5m(1.25-6.0-1.25)						
事業の立案に至る背景	<p>本路線は、峰浜村、八森町方面から県北地区の高速交通拠点である「大館能代空港」や琴丘能代道路「二ツ井IC(仮称)」などへのアクセス道路としての役割を担うとともに、農林業をはじめとする産業物資や生活物資の輸送を支援する重要な路線である。</p> <p>しかし、当該区間は、幅員狭小(車道幅員5.0m)で線形も悪く(最小曲線半径35m)、急坂路(最急勾配9%)であり、大型車のすれ違いや冬期交通の確保が困難な状況である。</p> <p>このため、地域住民の安全や交通の円滑化を確保するため、道路整備を行うものである。</p>						
事業目的	物流の効率化の支援(大館能代空港、琴丘能代道路「二ツ井IC(仮称)」) 冬期末改良区間の解消						
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等		
	事業費	800,000	800,000	0			
	経費内訳	工事費	624,000	624,000	0		
		用補費	88,000	88,000	0		
		その他	88,000	88,000	0		
	財源内訳	国庫補助	440,000	440,000	0		
		県債	342,000	342,000	0		
その他		0	0	0			
一般財源		18,000	18,000	0			
事業内容	調査・設計 改良 舗装	調査・設計 改良 舗装					
事業の進捗状況	用地買収が完了し、改良工及び橋梁工に着手している。						
事業推進上の課題	特になし						
関連する計画等	あきた21総合計画における「地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備」を支援する事業 琴丘能代道路「二ツ井IC(仮称)」						
情勢の変化及び長期継続の理由	H17.2.1に八森町峰浜村合併協議会が設立され、H18.3.27合併予定である。						
事業効率把握の手法及び効果	指標名	路線改良率					
	指標式	改良率(改良済延長/路線実延長)					
	指標の種類	成果指標	業績指標	低減指標の有無	有 無		
	目標値 a	74.1 %		データ等の出典	道路現況調査		
	実績値 b	68.4 %					
達成率 b/a	92.3 %		把握の時期	平成17年7月			

前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留または中止
	指摘事項
	特になし
	指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評 価 の 内 容 (特 記 事 項)	評 価 点
必 要 性	現況道路構造が最急勾配9%、最小曲線半径35mの隘路となっており、安全な交通確保のため、早急に整備する必要がある。	10点
緊 急 性	車道幅員が5mと狭隘で、冬期交通に支障や危険を伴っているため、早急に整備する必要がある。	12点
有 効 性	沿線住民にとって重要な生活道路であり、地域住民の安全が確保され、交通の円滑化を図る上で整備後の有効性は高い。	23点
効 率 性	事業の費用便益比は、1.62であり、効率性は高い。 ・総費用の現在価値 834百万円 ・総便益の現在価値 1,349百万円 計画日交通量も2,300台となっている。 人家連担地域内の通過交通を排除して自転車歩行者の安全性を確保する全線バイパスとし、歩道を設けない車道だけの計画によりコスト縮減を図っている。	20点
熟 度	用地買収が完了している。 工事進捗率51%であり、事業進捗の熟度は高い。 地元から早期道路改築の要望が出されている。	18点
判 定	ランク () 地域住民の重要な生活道路であるとともに、「緊急性」「効率性」「熟度」が高く、交通支障区間及び冬期末改良区間の解消のため引き続き事業を実施すべきである。	83点
総 合 評 価	継続 改善して継続 見直し 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)

引き続きコスト縮減に留意しながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の総合評価を可とする。

評価種別 継続箇所評価

事業コード (H17-建-継-07)

適用基準名 道路改築事業 (地域内・生活圏交通促進)

箇所名 (峰浜村石川)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数	3箇所以上	8	8	
	・車道幅員 < 5.5m	2箇所	6		
	・最小半径 < 100m	1箇所	4		
	・最急勾配 > 5%	0箇所以上	0		
	・冬期堆雪巾なし				
	道路環境上の欠陥該当項目	5件該当	7	2	
	・現道の混雑度 1.0	4件該当	6		
	・現道の旅行速度 30km/h	3件該当	5		
	・現道の事故率 50件	2件該当	4		
・通学路指定で歩道なし	1件該当	2			
・重大交通事故が発生	該当項目なし	0			
計			15	10	
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無	あり	4	4	
	・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	なし	0		
	市町村合併支援道路	位置づけあり	3	0	0
		位置づけなし	0		
	交通量	増加している	3	3	
		増加していない	0		
特有の課題の有無	あり	5	5		
老朽橋、災害危険箇所、冬期通行不能区間等	なし	0			
計			15	12	
有効性	道路の位置づけ				
	生活圏30分形成道路等	該当する	7	0	
		該当しない	0		
	救急医療施設へのアクセス道路	該当する	7	7	
		該当しない	0		
	地域防災計画に重要な道路	該当する	7	7	
		該当しない	0		
社会変化による事業の必要性	必要性が高い	9	9		
	低下傾向	6			
	必要性が低い	3			
計			30	23	
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	
		0.5以上~1.0未満	3		
		0.5未満	0		
	計画交通量	1,000台/日以上	5	5	
		500台/日以上~1,000台日/未満	4		
		300台/日以上~500台日/未満	3		
		300台/日未満	0		
	コスト縮減	あり	5	5	
		なし	0		
事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5	e t c 大規模バイパス e t c 部分的ミニバイパ e t c 現道拡幅	
	既投資額の部分的損失	4			
	既投資額の損失が少ない	3			
計			20	20	
熟度	事業の進捗進捗状況				
	事業の進捗 (事業費)	8割以上完了	10	8	
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
		1割未満	2		
	用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了	10	10	
		5割以上完了	8		
	1割以上完了	5			
	1割未満	2			
	未着手	0	20	18	
計					
合計			100	83	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		